

令和4年度 第2回 富塚小学校学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和4年7月6日（水） 14時00分～15時00分
- 2 開催場所 富塚小学校 会議室
- 3 出席委員 吉原、鈴木、萩原、小宮山、藤田、石黒
- 4 欠席委員 疋田、平出、津根、片山
- 5 オブザーバー 門奈保典（富塚協働センター）、小楠佳子（地域代表）
- 6 学校支援コーディネーター 高橋
- 7 学 校 村松（校長）、土屋（教頭）、江間（教務主任）、新田（CSディレクター）
- 8 教育委員会 鈴木陽子（教育総務課）
- 9 傍 聴 者 なし
- 10 協議事項
（1）議長の選出について
（2）キャリア教育について
- 11 会議録作成者 CSディレクター 新田
- 12 会 議 記 録

司会の会長から、委員総数10名のうち6名の出席があり、過半数に達しているため会議が成立している旨の報告があった。

（1）議長の選出について

司会から、議長の選出について副会長を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

（2）キャリア教育について

○各学年の様子

教務主任よりプレゼン資料に基づき、各学年の今年度これまでのキャリア教育に関わる活動について説明があった。

○キャリア教育についての説明

教頭よりプレゼン資料に基づき、本校におけるキャリア教育の取組状況について説明があった。

○グループワーク

A～Cの3つのグループに分かれて、キャリア教育について「こういう子供に育てほしい」「こんな活動ができそうだ」「富塚地区にはこんなよさがある」「地域人材」などの観点で意見交換を行った。委員からは以下の意見があった。

【Aグループ】

- ・6年生から1年生へ紙芝居をすることや、卒業式での縦割りの子へのプレゼントなど、縦割りの

関わりが子供たちの心に残っているように思う。異年齢と関わることは大切。

- ・大学生との関わりとして、大学生に低学年の学習を教える支援をお願いするなどできるのではないか。
- ・中学生などの身近な先輩、卒業生などに関わって夢や頑張りを聞くことは、子供が自分の夢や目標を持つことにつながると思う。
- ・第一人者など、活躍されている人の話を聞いて、子供に感動する心が育って欲しい。
- ・富塚には夢や生き方を語れる人がたくさんいる。

【Bグループ】

- ・登下校時の旗振りや見守りで地域人材を活用したり、製造、町工場など地域を生かしたりする活動ができるとよい。
- ・縦割り活動では子供たちの発想を大切に、大人が批判をしないようにするとよい。
- ・基礎的汎用的能力は社会に出て必要なこと。PDCAサイクルと同じで、成功、失敗したことの理由を考えて改善することが大切。
- ・自分の強み、弱みを知っておくことは必要。

【Cグループ】

- ・自分の子供に将来について考えさせる時、「どんな大人になりたい？」などと、本人が気づいて考えるきっかけを与えられる声かけをするようにしている。大人が先回りしてあれこれ言うのではなく、自分で気づき→考え→実行することができる子どもに育てて欲しい。
- ・子供が将来のビジョンを持つことは難しいが、大人とふれあう機会が多い子の方が将来のビジョンを持っているように感じる。地域の大人たちとのふれあいが大事。
- ・大人が認めてあげる、褒めてあげることがないと子供は夢を持ってない。周りの大人がよく見て認める、褒めることが大切。
- ・富塚は地域の人材が豊富だと思うが、人の情報を知ることは学校ではなかなか難しい。コーディネーターさんなどを通じて紹介していただくと有難い。(校長)

その他の報告事項等

司会から、次回会議は、令和4年11月25日（金）午後14時00分から会議室で開催する旨の報告があった。